



HPはこちら

社員システム「新JINJRE」 2度目の稼働延期

稼働当日の延期で現場は混乱 対応に苦慮

当初「社員システム『新JINJRE』」は2021年10月13日に稼働する予定でしたが「2022年1月14日に稼働」に延期としていました。しかし、1月14日の稼働当日になって再び延期となりました。そのため、職場では勤務管理や年休申請をはじめ福利厚生の手続きなどで混乱が生じ、対応に苦慮する事態となりました。

施策を見切り発車する企業体質でいいのか？

○システム稼働延期に伴う社員本人による再申請や確認事項（以下は抜粋）

- ・ 休職と復職申請（育児休職、介護休職）
- ・ 個人に関すること（家族情報の変更申請、通勤経路と通勤手当変更申請等）
- ・ 研修申し込み（各研修、社内外の通信研修申し込み）
- ・ 住宅支援（社宅等居住申請、住宅援助金給付と住宅ローン支援認定申請、同給付申請等）
- ・ カフェテリアプラン（社外レジャー施設申請等）
- ・ 人間ドック受診申請
- ・ 予防接種（予防接種立替精算申請等）

課題は「システムの稼働延期」だけなのか？

- ・ 稼働延期に伴う業務の非効率化とコストは増加していないか？
- ・ システム不具合時の対応は？
- ・ システムだけに依存する企業体質でいいのか？
- ・ 施策のみが「ひとり歩き」していないか？



東日本ユニオンは

「新JINJRE」に関する申し入れを提出！